

根郷

第46号 (2020-3月発行)

寿だより



発行 佐倉市立根郷公民館

〒285-0815 佐倉市城 343-5

TEL 043-486-3147 FAX 043-486-3686

E-mail negou-public@city.sakura.lg.jp

編集 根郷寿大学・根郷寿だより編集委員

昔を懐かしむオールドマン

三班 渡部 敏夫

令和元年10月16日、根郷寿大学の社会見学の日がきた。懐かしの都内バスツアーである。

バス2台で総勢80余名が参加。台風19号の数日後であり、集合場所ではもっぱら被害状況のことであった。被害にあわれた方々にはお見舞い申し上げたい。

バスは、東関道、首都高を経由し、一路、東京へ。大いに雑談の中、NHK放送センターそして東京都庁に到着。今から12年前まで在職していたが、ここで思わぬトラブル発生。食堂に行こうとしたエレベーター前のゲートにガードマン達。エーエー。セキュリティが厳しくなっていたのである。時代は刻々と変化していた。12年の歳月が経っていた。庁舎に入るのに45分も遅くなり参加者一同に迷惑をかけてしまった。正午をまわってしまったが、なんとか職員食堂での昼食。

各班毎に食事をとることができな

かったが、若々しい都庁職員と向かい合いながらの食事となった。なぜか自分自身の現役時代に戻った気がして何となく嬉しくなっていた。でも、あらかじめの事前調査をしておくべきだったと反省。定食で690円の支出。よって時間の制約から都庁展望台に登れず。

その後、新宿、信濃町、その後令和天皇のお住いの赤坂御所前を通過し、待望の東京タワー。

そうそう、昭和48年、結婚のスタートをきったのは港区白金（今で言うシロガネーゼ）であり、昭和54年に佐倉に転居するまでの6年間、いつも東京タワーを下から見上げながらの通勤だったな。

中学生以来、50年ぶりに展望台に上った。その景色は様変わりし、眼下には芝の増上寺があり、高校受験時に落ちた私立高校を見ることができたが、芝ボウリング場はすでに無くなっていた。また曇天のため富士山を見ることができなかったが、新たにレインボーブリッジ、お台場、

豊洲新魚市場。そして2020年のオリンピック選手村を一望。

展望台からの景色は、昔の景色とは一変していたのには驚きであった。高所からの展望は、自分の小学生、中学生時代等の歩みが走馬灯のように駆け巡った。

優しい父、母がいた。そんな自分の足跡を思い起こせた懐かしいものであった。

自己満足

三班 菊池 美千枝

今、住んでいる佐倉の町はどこに行くにしても坂ばかりです。自動車移動ならなんてことないけれども歩いて行こうとするとウォーキングの覚悟が要ります。でも、薬師坂・猿が脇の坂・人気のあるひよどり坂等いわれのある坂が色々ありますよね。

とある日、やかん坂の記事を読みました。ナニナニ？ やかん坂って何処にあるのでしょうか？ 人生の先輩に聞くと鐮木坂下Y字路交差点のガ

ードの近くにある。もう一人の先輩からは、何回か登ったからちゃんとお宝を発見です。市民体育館や城址公園に散歩に行くのにもとおる通りに確かに存在しています。ガードのところのホンダバイク店隣に誰でも読める字でやかん坂の名札があつて、程よい高さの階段です。手すりもある登り易い石段がありました。登りきったところから右手に行くと権現神社があり、左手に行くと薬師坂の坂上に出ることができます。



(写真：下から見上げた「やかん坂」)

分からないことが分かつて最高に良い気分です。本当に微々たる学びだけでも、一人ほくそ笑んでいます。しかしです、自己満足の域を超えていない・・・。

私の日々

にちにち

十班 斎藤 たかし

・起床午前四時 妻と私の衣類等洗濯開始。その間朝のテレビを視聴、例えば八チャンネル「クイズ脳ベルSHOW」等、頭の体操として。

・四時半～五時 洗濯物を干し、燃やせるごみ等指定ごみ袋を出す。その後早朝防犯パトロールを兼ねウォーキング。

・六時頃 朝食、一週間に二～三回、妻（要介護認定）がデーサービスへの通所の送迎車を待つ（八時半～九時）夕方四時～四時半頃、帰りを待つ。

・根郷寿大学（主に第三金曜）根郷寿日より編集（主に第三火曜）各月十日城址公園ガイド（木曜は他と重なるため不参加）

・ねごう歩こう会（第二火曜日、原則として午前中、等々）私が半日以上出掛ける日に、前記のデーサービスに妻が通所する。

・妻への訪問診療（月2回月曜）訪

問介護（月2回木曜）等の時間に立ち会う。

・各日合間を利用して買い物及び城址公園センター内の掃除等々。なるべく「他人ファースト、自分はセカンド」を心掛ける。

・疲れがたまつた日の夜は、好きなクラシック音楽を鑑賞（事前に録画、病気を防ぐか最小限に食い止めるには、普段歩くことに心掛ける。

・ボランティアの語源は志願兵！自ら志願する人。

・他に、私の住む団地入口角の緑地を利用して草花を中心に植えて育てる。人の往来が多く、少しでも癒しにながれば良い。

・午後九時半～十時就寝

付記(1) 最近、固定電話（留守録機能）に「ワン切り」が増加、当然イタズラに過ぎない。そんな暇があったら、他にやるべきことがあるのではないのでしょうか、と聞きたい。

付記(2) 台風十五号に続き、十九号の被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。佐倉の秋祭り中止は残

念ですが仕方ない。そして畳みかけるように二十一号が・・・。（令和元年十月記）

付記(3) アレコレ雑役多忙で疲れが溜る昨今です。

「東京だヨおっ母さん」

五班 吉野 強三郎

昨年の根郷寿大学の社会見学会はNHKと東京タワーでした。東京タワーにはタワーが完成した中学生の時に父に連れて行ってもらった記憶があります。その頃の自分は「高所恐怖症」ではなかった様でメインデッキ（150m）展望室から窓越しに東京の街並みを見ましたが、あれから60年超を過ぎ今回の見学会には窓には近づけず「おどおど」しながらエレベーター近くから東京の街並みを見ておりました。勿論「スカイツリー」等とはとてもも行きたいとは思いません。スケルトンのエレベーターも苦手な乗り物です。私は東京で住んだ経験はありません。田舎の生まれなので多分東京

のスピード感には追い付けずストレスが溜まるばかりの生活になりそうなので「良かった」と思っています。

昭和の歌謡曲に「東京だヨおっ母さん」と言う歌があります。ご存じの様に母親を東京に住む娘が東京見物をさせる歌です。母親は何処に住んでいるのか歌詞からでは解りませんが雰囲気からは東北地方でしょうか？

もう両親は他界し現在は義母が元気で居るだけです。自分が人生の晩期を迎えて、感じるのは、良く言われる事ですが「親孝行したい時には親はなし」です。親孝行と言っても何が出来るか？いろいろな親孝行があると思います。

ゴーンさんの様に大金があれば「プライベート・ジェット」で世界一周も出来るのですが、平凡な社会人卒業の私には、誕生日、古希、喜寿、米寿等での「食事会」また近くの「温泉」に行く位です。その温泉旅行を1度だけですがした事があります。仙台に住んでいた時、故郷

から両親を仙台近くの「秋保温泉」に誘った事があります。一泊二日のスケジュールだと思いましたが帰りの切符はなけなしの金をはたいてグリーンを手配しました。両親には死ぬまで感謝されました。

私は歌うのは苦手ですが聞くのは好きです、最近ハマっているのは「東京大衆歌謡楽団」でたまにチューブで楽しんでいます。最近の歌は解りませんが昭和歌謡の詞が好きです「東京だヨおっ母さん」の歌詞を見ると母を連れた娘の「絵」が浮かんできます、二番の歌詞は私も戦争ではありませんが上の兄を若くして亡くしたので思い出し、最近は涙もろくなつたせいもあって最後まで聞く事がなくなりました。

昭和に生まれ、1学級50〜55人の学校生活を送り卒業後は高度成長期、バブルの時代に勤務し平成、令和の3時代を過ごしています、今後も元気で健康で趣味を楽しみ過ごして行きたいと思っています。

「鉛筆画」

九班 森 健時

（編集担当より・投稿頂いた鉛筆画をそのままスキャンして掲載していますが、各画の添え文を「○」印以下に付記しています。）



根郷寿大学生、平成二十九年度
社会見学
鹿島神宮にて

○「根郷寿大学生、平成二十九年度二班」

社会見学 鹿島神宮にて



日本勢メジャー制覇
42年ぶり
ゴルフ全英女子20歳 渋谷V
初挑戦「スマイルシンデレラ」

○ゴルフ全英女子20歳渋谷V

日本勢メジャー制覇42年ぶり
初挑戦「スマイルシンデレラ」



この世で一番美しいもの
それは女性です

○「湖畔」

この世で一番美しいもの それは女性です



「落穂拾い」
貴方は何拾う？
私はコサヤかな
幸福を拾う

○「落穂拾い」

“ 貴方は何拾う ”
“ 私はささやかな幸福を拾う ”

「自分史」編集に思う

九班 山田 礼子

大正十四年生まれの九十四歳を迎

える父に「自分史」を作成することを提案して、家系図や家紋などを調べて一冊の本にまとめようと思いましたが、

福島の父と千葉の私では、度々帰省して話をするのが難しいので、父への質問事項を書き出して郵送でやり取りをしました。父には時間が掛かってもよいので分かる範囲で書くようにお願いはしたものの、高齢で心臓に病を抱えている父には難しいことなのではと思っておりました。しかし、父への二十項目の全ての回答を得るまでに依頼してから四ヶ月経ちましたが、常にしつかりとした字で返事が届きました。それから二ヶ月を掛けて編集・校正・訂正、写真や挿絵、筆字の題字、父の子供達（私の妹弟）のメッセージ依頼、私

父は七人兄弟でしたが、兄二人が戦死、姉他三人が病死、さらには十九歳の時に父（私にとって祖父）が病死と、時代とはいえ苦労したに違いないありません。そのことを理解してもらうには時代背景を記す必要があると考えました。

父が凄いと思うのは、自分の夢である北海道に渡り牧場をすることを諦めて、農家の跡取りになりましたが、農家で生計を立てる一方で自分の夢だったことを実現したことです。当初は、小規模ながら羊や山羊を生産・飼育・売買（家畜商）をして、羊肉を使ったジンギスカン料理店を開店させて大繁盛させたことです。その後、さらに牧場を拡大して最大で羊三百頭の牧場主になりました。

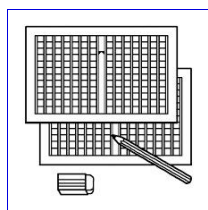
私の弟がその父の志を継いで獣医師となりました。彼は、県北一円の家畜農家を管理して、自分でも肉牛百八十頭を飼う牧場主でもあります。さらに弟の子供が同じ道を選択し、獣医師として北海道で仕事をしました。家族で帰ってきて弟を手

伝っています。

親（父）から子へ、そして孫へと次の世代へと受け継がれている仕事の基礎を築いた父を私は尊敬しております。その父のために心を込めて編集した自分史を父の誕生日に贈呈致しました。

父の自分史の題は「大正・昭和・平成・令和に生きて」**繋がる思い**としました。

自分史は作成・編集するのは大変ですが、自分の人生を振り返る良い機会となりますので、皆さんも挑戦してみてくださいいかがでしょうか。



「ある日」の電車内

四班 犬丸 俊博

その日は、「ワイン試飲会」に参加するため、久しぶりに家内と同行しJRに乗車したが、その電車内での光景に「時の流れ」を強く感じた日であった。

佐倉駅で発車の合図が鳴る中で、

ドアの閉まる直前、懸命に駆けて来た男女の学生が乗り込んで来た。お互いの顔を見ながら苦笑する二人が、直ぐに取った行動とは携帯を取り出し、メールを開始することだった。

左手では電車の吊り輪を握り、他方の手では携帯を握りながら親指のみが器用に動き、目はじつと携帯画面を見つめている。終着駅の千葉まで約20分程度、その二人は車内での会話をするでもなく、一心不乱に自分の携帯との格闘を続けていた。特に驚いたのは、携帯を持つ手の中で動く親指の早さ！メールの相手先からの返信でもあったのであろうか、1分足らず親指が止まったかと思うと、また素早い動きに戻っていく。我々が否応なく携帯での生活に組み込まれ始めた時、社会問題として音楽プレイヤーからの音漏れや車内での通話などの迷惑行為が話題となっていた。

また、自分の現役時代には、寿司詰め状態の電車内で新聞を縦に折つ

て読んでいる人、あるいは僅かな時間でも睡眠を確保しようとする人などが大半であった。それが「電車内」の光景であった。当時のテレビでは、日本に来て驚いている外国人、それは「それまで熟睡していると思われる乗客が、目的の駅に近づくと、ほぼ正確に目を覚まして降車する日本人」というエピソードが紹介されてもいた。

しかし、今や先ほどの若者だけではなく、車内の大半の乗客はポケットから携帯を取り出して、自分の世界に浸っている。大きな位置を占めていると感じている人が多いのは間違いない。就職し、初任給を貰った喜びとともに、お金を貯めて欲しいもの、それは車であり、ブランド物のバッグや衣服というのは昔の話。今は、携帯電話の普及によってライフスタイルが大きく変えられ、通信費と括られる携帯本体や通話料金が、家計の主要支出を占めている。

これから10年先、いや数年先かも知れないが更に新しい物が登場した

り、身近になって我々の生活を大きく変えるかも知れない。片手で携帯を操作する若者、いやこの読者諸氏の中には、私もこの若者に負けない位、素早く親指を動かす人が居られることでしょうか。左手に携帯を持ち、不器用に右手の人一倍大きな人差し指を動かし、何度も打ち直している自分が滑稽に思える。

さてさて、こんな思いを感じながら二度の乗り換え後、京葉線車内では、外房線からの直通電車で座席は満席。その時、若い教師に引率された小学生グループが我々夫婦に席を譲ってくれた。人生で初めて席を譲られ、我々は感謝の言葉を返すことはもちろんながら、降車後にお互いの顔を見て、「年を取ったんだね」とお互い微笑んだ。帰りの電車では、少しアルコールで上気した初老の夫婦であったことは疑いない。そんな「ある日」の電車内であった。

千葉寺本堂の歴史及び遺跡

八班 川辺 忠俊

これから書く千葉寺の歴史はほんの一部の原稿です。実は「千葉寺周辺の歴史」と言う題目で佐倉歴史同好会にて発表するため、パワーポイント用ソフトとして作られた文書であります。

さて、重要視する以外は省略しますので、読みにくい所がありますのでご了承下さい。千葉寺の所在地は千葉市中央区千葉寺町161番地にあり、山号は海上山真言宗豊山派に属するもので、本尊は十一面観音、和銅2年(709)に創建された。開基は行基。正式の呼び名は「チバテラ」ではなく「センジョウジ」と呼ぶそうです。

千葉寺は第2次大戦の空襲で焼失、昭和51年に再建、同時期に仁王像が再建されたようです。この寺は和銅2年に行基が東国巡礼中に千葉寺に立ち寄った際に、十一面観音像を安置した事に始まる。この時聖武天皇の命により千葉寺と称したという。永暦元年に寺は焼失、再建その後千葉氏の祈願寺となったそうだ。江戸

時代にはご朱印領200石を拝領していたそうです。ここは坂東三十三観音霊場29番札所であり、関東八十八カ所第四十七番大師講でもあります。

千葉寺の文化財として境内の広間に大銀杏の木があり、大木の周りに樹乳が大小125本ぶら下がっているのが目に付く。この銀杏の大木は千葉県指定天然記念物として市民の方に慕われている。大銀杏の高さ約30m幹回り10m、年代は不詳推定約1300年とか。銀杏の木は中国が原生種であるそうです。生命力は抜群で2億5千年前に繁殖し、氷河期には全滅し僅かに残ったものが現在見ることが出来る。奈良時代に日本の僧が中国で修業し、帰国時に持ち帰って植えた事が良く知られている。

千葉寺の正面に仁王門がある、屋根は瓦葺きで中心部は唐風作りになっている、屋根の最上部にひと際目立つ鬼瓦がある。そこには千葉氏の家紋(真上月星紋)が付いていた。

その脇に雲型瓦が幾つも付いていて、屋根の飾りとしては豪華であり神秘的なおもむきに見えた。本堂の扉の中央に真言宗の家紋が付いている。その両脇に（左月星家紋）千葉氏本家の紋が付いているのが目立つ。

千葉寺は千葉市内最古の寺で、発掘調査の結果、奈良時代末期に（4間×4間）の瓦葺きの金堂が存在していた事がわかった。境内にある鐘楼は文政11年（1828）に建立されたそうです。

その他遺跡として奈良時代の布目瓦、平安時代の経筒、鎌倉時代の常滑焼骨壺、室町時代の青銅製透かし釣灯籠などがある。遺跡ではないが桃山時代の五輪塔なども上げられる。重要文化財として铸胴梅竹文透かし釣灯籠があり、この灯籠は明治43年に千葉市千葉寺町千葉寺跡から出土したそうです。

その他古代の鏡は中国製であろうか千葉寺にも保管されている。この鏡は三角縁神獣鏡で弥生時代から古墳時代に日本の各地に大量に入って

きたものです。その中の遺物でしょう。日本製の鏡は映す物にかぎらず、権力のシンボル神の衣代として信仰の対象、そして背面の模様や図柄からも美術工芸品として貴重に扱われたものです。

吾妻鏡によると千葉寺は池田郷の池の近くに旧千葉寺があったそうです。池田郷とは千葉市中央区及びその周辺に存在した荘園です。永禄年間に「千葉大夫」と言う方が開拓され、領主となって開いた荘園ですが、後に千葉常重が大椎屋形から現在地に屋形を移し御殿屋敷として居住していた。池田郷の御殿屋敷近辺に大きな池があり、その周辺に旧千葉寺が存在していると吾妻鏡に書かれている。

千葉寺周辺に多くの寺や神社、遺物などがあり紐といっていくと面白くてたまりません。

東京オリンピック・パラリンピック成功させよう

九班 直江 國雄

朝日地球会議（東京五輪パラリンピック）に出席して・・・講演パネル討論（金哲彦、今泉柔剛、有森裕子、前田大輔）まとめ

●「スポーツに持続可能性が求められて」各国国民が健康で、友好の場にスポーツを加え競技を楽しむことから、国外とも対戦（国境がない）開催国東京で（平和）、立派な競技場で熱戦をくり広げ（恩返し）又聖火リレー出発地が福島県、震災や原発事故から復興する姿に勇気を与える。大会後各選手は母国に報告し、自国の発展につなげ、又開催されることに対して貢献する。

●「メイン会場・オリンピックスタジアム」は隈研吾さんの設計（木造・和風）国民の税金でつくられたもので、財産。どの競技でもよいですから熱戦を見て頂き、又今後のあと利用、若者へどのように引継ぐかの案も考えて下さい。

●「選手村」大変広くて立派な建物、夢や希望をもった選手達が世界中から集まる社交場は、一つの絆で結ば

れ、食事のマナー「いただきますす」・・・これは植物、動物性食品水等、これらをつくり、運び、料理に関った人などに、そして選手の健康・維持とそのエネルギーが早く競技活動に役立つ事。総てに対して感謝するー（素晴らしい心ですね）こちらもメイン会場と同じく今後のあと利用案について考えて頂きたい。

●「マラソン競技」夏期・酷暑が予想され健康管理が一番大切ースタート時間、場所の変更案が必要と・・・

皆さん是非共競技の熱戦を・・・若がえりまず、思い出に又心の財産にしましょう。私は今回のパラリンピックを・・・健児者と同じ競技する努力がすごい、たくましく盛りあがった筋肉から生まれるスピードパワーなど観戦予定しています。ここで前回、夏季東京、冬季長野五輪5つ紹介します。

第一回東京五輪（1964年）一年前の同年日、入場券1人2枚発売男子バレー、女子体操がやっとの購

入でした。

(1) 「男子バレーボール」はじめての五輪―会場の雰囲気のみこまれないように、アメリカとの熱戦、回転レシーブ、更には高さスピードに集中、その一瞬の技に感激しました。結果は3位銅メダル。しかし、その後の大会、メキシコで銀、ミュンヘンで金メダルと黄金時代が続くのでした。

(2) 「女子体操」チェコスロバキアのベラ・チャスラフスカ選手に注目。どれだけ練習を、又先天的センス、優秀な演技が加わることで大歓声、拍手、価値ある金メダル。やっぱりスポーツには、国境がない平和を一同で味わった。

(3) 「マラソン」は沿道で暑さの中2時間待ち、やって来たのがエチオピアのアベベ・ビキラ裸足でローマに続く2連覇の偉業。私もマラソンをやっている一人として人間の極限を夢みているような気がした。続いて円谷幸吉選手が国民を熱狂させる中、国立競技場へ、最後に抜かれて

3位銅メダルを手に記録に残る成績。しかし次期大会寸前に亡くなり、大変残念な思いをした事も忘れられません。

(4) 「女子バレーボール」(テレビ観戦)は、この東京大会より正式種目に、大会前から東洋の魔女と恐れられ予想どおり高さパワー、回転レシーブを武器にねばりとスピーディーなプレーを差しこんだのは、神田(旧姓松村)選手ではなかったでしょう。全勝初代女王に輝き日本中がわき、永遠に残る**「美技」** ありがとう。

(5) 冬季2回目長野五輪(1998年)―長野新幹線開通―運良く一枚手にしたのがバイアスロン(スキーと射撃を組み合わせた競技) 野沢温泉村会場、ここは私が70回位スキーに出かけ思い出深い地、銀世界の下一日楽しみ、夕方から善光寺通りの表彰式場へ。丁度スキージャンプ日本の団体個人表彰で原田雅彦選手が団体で金、個人で銅、両手に花が上がる、涙・涙で泣きくずれる姿。今ま

での練習、つらい思いなど克服しての私も小さい頃からスキーやった経験から思い出し感動した。

直ぐ近くに、オリンピック宣誓した荻原健司選手(ノルディック複合)が、以前草津でスキー大会が毎年開催され(5回程コーチをしていた方)、近寄るとよく来てくれたなあーと、握手を求められ元気だなーと数分間スキーなどの話をして(忙しい人なので)じゃー又会おうよと力強い握手ありがとうございました、一瞬絶句(涙が)今までの人生の中で忘れられない手の温りが全身に雪の中で「大きなプレゼント」勇気もらい、スポーツ選手はみなフエアだ、大会が盛大で無事終了を願いつつ帰路についた。

「川柳」

七班 山城 安男

1 手抜きなく 功德を積みて
自惚れか

2 無病では 話のネタも味もなし

3 古希の友 春酒啜りて 肝試し

気の毒な名前の花たち

六班 大越 清

こんな名前をどのような考えで付けたか、人に気の毒な名前を付けるとその人の「一生」を左右しかねない。そんな気の毒な名前も「植物界」に多くある。こんなに可憐な花なのになぜと、思わざるを得ないし、気の毒で「名付け親」の顔を見てみたいと、勝手ながら思う。植物は抗議や改名もできない、そんな「植物」を私なりに選んでみました。

(1) ヘクソカズラ (屁糞蔓)

日当たりの良い草地などに8〜9月に1cmほどの花をつける。名は、花や葉を傷つけると便臭がすることから。一方、ビナンカズラ(美男蔓)と言う名の植物もあり、この差はあまりにも違いすぎる。

(2) クソニンジン(糞人参)

中国から薬用として入り野生化したと考えられる。抗マラリア薬として知られている。キク科だが葉が人参に似ていて、道端や荒地地に生え、

全体に臭気がある。



ヘクソカズラ



クソニンジン

(3) ママコノシリヌグイ (継子の尻拭)

つる性の高さ1m以上。林の縁や湿地に5〜10月に枝先に出る花序に10数個の花をつける。継子の尻をふく草という意。葉や茎に鋭い棘からの連想と思われる。



ママコノシリヌグイ



ハキダメギク

(4) ハキダメギク (掃溜菊)

中南米原産で大正時代に日本に。圃場や道端などに6〜11月に頭部に5mmの花をつける。

命名は牧野富太郎氏。最初に見つ

つた所が掃溜めであったことから名がついた。

(5) ヌスビトハギ (盗人萩)

草原や林の縁などに7〜9月に小さな蝶型の花をつける。果実はカギ状の毛で衣服などにつく。名は、実が忍び足で歩いたドロボウが残す足跡に似ているから。異説もある。



ヌスビトハギ



ウバユリ

(6) ウバユリ (姥百合)

山野の林に7〜10月に緑白色の花。花の先はあまり開かない。名は、花の頃よく葉が枯れるので、(葉)齒がない老婆から。なぜ姥で爺でないのか。

(7) オオイヌノフグリ (大犬の陰囊)

田畑や道端に早春に8mm前後の花をつける。欧州原産の帰化植物。明治中期に渡来し、在来種のイヌノフグリを山間部に駆逐した。名は、子

房の果実が犬の陰囊に似ているから。

(8) ノボロギク (野檻樓菊)

欧州原産で世界中に帰化、日本には明治はじめに渡来。畑地、草原、道端などに花はほぼ通年。名の、ボロ(檻樓)とは白い冠毛がぼろくずのように見えることから。



オオイヌノフグリ



ノボロギク

(9) ヤブジラミ (藪虱)

山野の道端や藪などに5〜7月細かな白い花をつける。日本の在来種。名は、よく藪に生え棘のある実がまるでシラミのように衣服に付くことから。



ヤブジラミ



ワルナスビ

(10) ワルナスビ (悪茄子)

北米原産から帰化植物。耕作地や荒地に6〜10月に2cmの星型の花。名は、繁殖力が強く棘があり始末に困る雑草の茄子ということ。ジヤガイモの仲間。

消費者トラブル解決例

四班 橋本 礼男

消費者トラブルにはいろいろなものがあるが、私と家族の経験事例が参考になれば幸いと思いい紹介します。
1. カクニンダーはがき 以前、私にも電話があった(被害なし)と話をしたところ、オレオレ詐欺から守るための合言葉を決めたというはがきが孫から届きました。家族みんなが大好きな食べ物でした。千葉県のカクニンダー大作戦による学校の授業の一環ですが、これで怪しい電話があったら撃退できそうです。

2. 架空請求はがき 妻あてに総合消費料金未納分訴訟通知書が二度届きました。最初は捜査の参考になるかと思つて警察に届けました。しかし、決して先方に電話しないように

との忠告だけでした。市内に多く届いているということそのまま返却されましたが、はがきの内容をよく見ればインチキと分かるので、二度目は届ける気にもなりませんでした。

3. 消費者センターの名前で撃退

これは、パソコン画面の削除ができないので、電話してやりとりしましたが、埒が明かないために、「それならこれから消費生活センターに行つて相談してくる」といったところ、「第三者が関与してくるなら・・・」

といて電話を切られました。これが最良の方法ではないようですが、消費生活センターの名前を出すのも有効と思いました。それ以降、料金の請求もなくパソコンにも異常がありません。

4. 電話番号の漏洩 知らないところからしつこい売り込みの電話があったので、この番号をどこで聞いたのかと尋ねたところ電話帳とのこと。そこで、我が家の番号は掲載されていない筈と言うと最近の電話帳ではないとのこと。となると、私は20

年位前から掲載をやめたので業者がもっているのはそれ以前のものということになる。確かにNTTやわが街の電話帳の古いのを探せば掲載されているので、それならば手当たり次第にかけてくる悪徳業者との根競べとあきらめました。その代わりそれ以来、常時留守電設定にして、ナンバーディスプレイを利用してあるので、知らない番号の電話には、メッセージを聞いてから出るように心がけています。

運転の自己診断をしよう

元根郷寿大学生 廣吉 正毅

このところ、高齢者による大きな交通事故が、ニュースでたびたび報道されている。その多くが、アクセルとブレーキの、踏み間違えによる事故である。世間では認知症からみとか、色々と言われているようだ。これらの事故のようすを、テレビのニュースで知った男は思った。自分は、年をとり心も身も弱ってきた。果たして、今までのように運

転できるだろうか。気がかりである。それと言うのは運転中に、その先の道順が、たまに思い出せないことがあった。また時々もの忘れがある。これって、一過性の認知症かも知れない。だとすれば、運転をしない方が良いに決まっている。

しかし、待てよ、まだまだ運転には自信がある。それに、車は生活の足であり手放せない。この気持ちがあつて、今日まで免許証の返納をためらっていた。

だが、ある日男にとって思いがけない、大変なことが起きた。外出先で、車から降りようとした時である。何と、車がゆっくり下り始めたではないか。慌てふためきブレーキを踏んだ。でも、車は止まらずスピードが段々と増してきた。それでパニック状態になり、他家の石垣に衝突し、そのまま車内に閉じ込められた。そこで、男は「確かにブレーキを踏んだのに・・・云々」とつぶやき、しかめっ面をしていた。近所の人が、車の周りに集まって

きた。口々に「大丈夫ですか・・・云々」と車内をのぞき込んでいる。その時、救急車のサイレンが近くに聞こえてきた。

男は、ここで妻に揺り起こされ、自分が夢をみていたことに気がついた。

はて、夢の中で交通事故とは？視点を事故防止に変えて考えてみた。そうだ、運転の自己診断をしてみよう。妻と一緒に。

人は加齢により、視聴覚が衰えていく。それに記憶力や判断力などが低下する。そこで、例えば日ごろ運転をしていて、信号機無視や一時不停止違反をする。ところが違反をした事実が、頭の中に全く残っていない。だから、違反したにも関わらず、本人は何も無かつたように運転を続けている。

こうしたことは、明らかに異常である。これらをきちっと把握し、自己診断をしていきたい。

一方、専門医の認知検査も受診する。その結果をみて、免許証の返納

を決めることにした。

ところで高齢者は、一般に大きな事故を起こす確率が高いようだ。であるから、速度を抑え、周りを良く見て運転すること。これをゆめゆめ忘れてはいけないと思う。

人間は、色んな間違いをして生きていく。けれど、晩節は大過なく暮らしたい。男はしみじみと自得した。

「新年一般参賀」に想う

四班 林 義之

1月2日早朝、急に思い立って「新年一般参賀」に出かけた。

東京駅丸の内中央口から行幸通りになると皇居に向かう人の流れが出来ていた。途中でボーイスカウトが配布する日の丸の小旗を受け取り、皇居前広場に着くと、既にかなり大勢の人々が行列を作っていた。

「午前のお出ましは3回（10分頃、11時頃、11時50分頃）だが、どの時間にお目にかかれるだろうか」などと考え待つことしばし、やがて正門石橋を渡り、正門を入り

右に旋回するスロープを登ると左側に伏見櫓が見え、正門鉄橋（二重橋）を渡り中門（なかもん）に入るあたりから渋滞してきた。

長和殿前の東庭（とうてい）には先に入場した参賀者が大勢おり、長和殿中央のベランダに第1回お出ましの皇族の方々のお姿がはるか彼方に見え、まもなく退出された。ベランダは全面ガラス張りのため斜め横からでは回りの景色が反射してよく見えない。大型ビジョンが2台設置され、皇族方のお姿や注意事項を写しているが、「映像だったら家でテレビを見ているほうが良い」という声が聞こえた。確かにそうだ。

入れ替え制ではないので、第1回が終わっても前に進まず、後から後から人が入ってきて、身動きがとれない状態だ。中には気分が悪くなつて倒れる人も出た。警備にあたる宮内庁職員や皇宮警察官も大変だ。

第2回のお出ましもよく見えなかったため、もう一度チャレンジした。良い位置取りをするため一旦、

後方に下がり、人の流れに沿って横に移動し、ベランダ正面あたりで前の方に出たが、途中でストップ。まあまああのポジションで我慢するしかない。

第3回は、天皇后両陛下、上皇上皇后両陛下、秋篠宮皇嗣同妃両殿下、眞子内親王殿下及び佳子内親王殿下がお出ましにいられた。参賀者は日の丸の小旗を振るなどして新年の祝賀の意をあらわし、天皇陛下はこれをお受けになり、お言葉を述べられた。

初めての新年一般参賀は寒い中であつたが、新春の心に清々しい温もりを感じつつ、坂下門から皇居を退出した。

一般参賀は毎年、新年（1月2日）と天皇誕生日に行なわれる。

しかし、今年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、天皇誕生日の一般参賀をはじめ様々なイベントの中止が相次いでいる。

早期終息と安全で安心して暮らせる日々を願う毎日である。

編集後記

桜の花便りが聞かれる頃になりました。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、閉講式が中止となったものの、根郷大学の今年度の行事を全て終えることとなりました。

根郷寿だより編集委員会では、定例の四十五号・四十六号を無事に発行する事が出来ました。多くの根郷寿大学生はじめ、卒業生の皆様からの沢山のご投稿を頂くことが出来たお陰です。

内容の充実した多方面からの記事、知識力に富んだ生活密着型の楽しい記事など多くの記事を掲載させて頂きました。投稿頂いた皆様に心よりお礼申し上げます。

次年度は根郷寿大学開講五十年の記念の年です。編集委員会では、記念号の発行を計画致しております。是非、多くの皆様に投稿を頂き、心に残る記念号にしたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

〈山田 礼子記〉